

「調整し、つなぐ」機能を担う災害時のボランティアセンター

普段から「困っている人」(困りごと相談)と「何かできる人」(ボランティア)を「調整し、つなぐ」(マッチング)ことを行っているのが、社会福祉協議会が行っているボランティアセンターです。

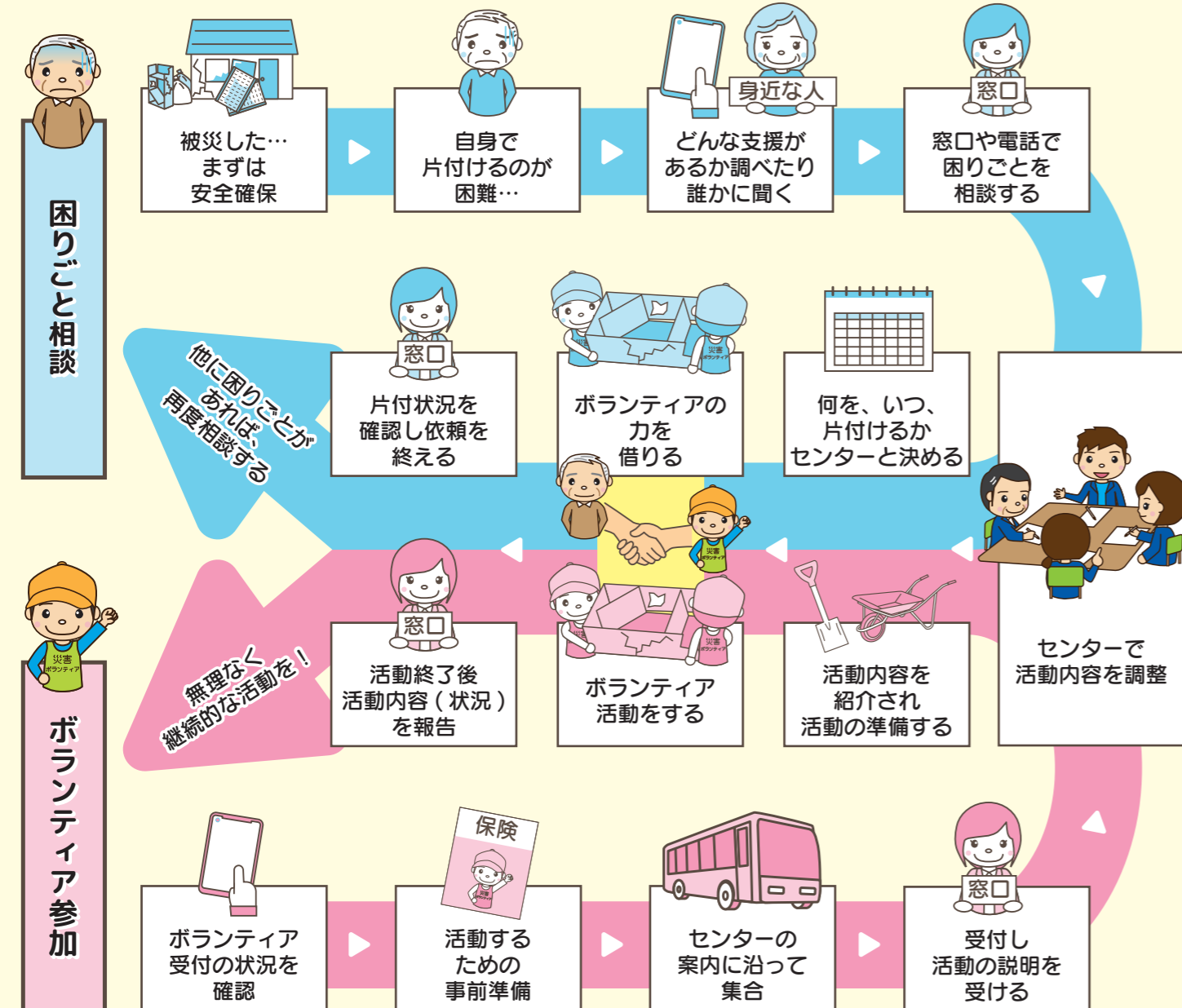
災害時には様々な人や団体の力を借りながら、ボランティアセンターの機能を発揮して被災された方のお手伝いを行います。

災害時のボランティアセンターは、「災害ボランティアセンター」や「支えあいセンター」と呼ばれることもあります。



社会福祉協議会が入っている福祉会館

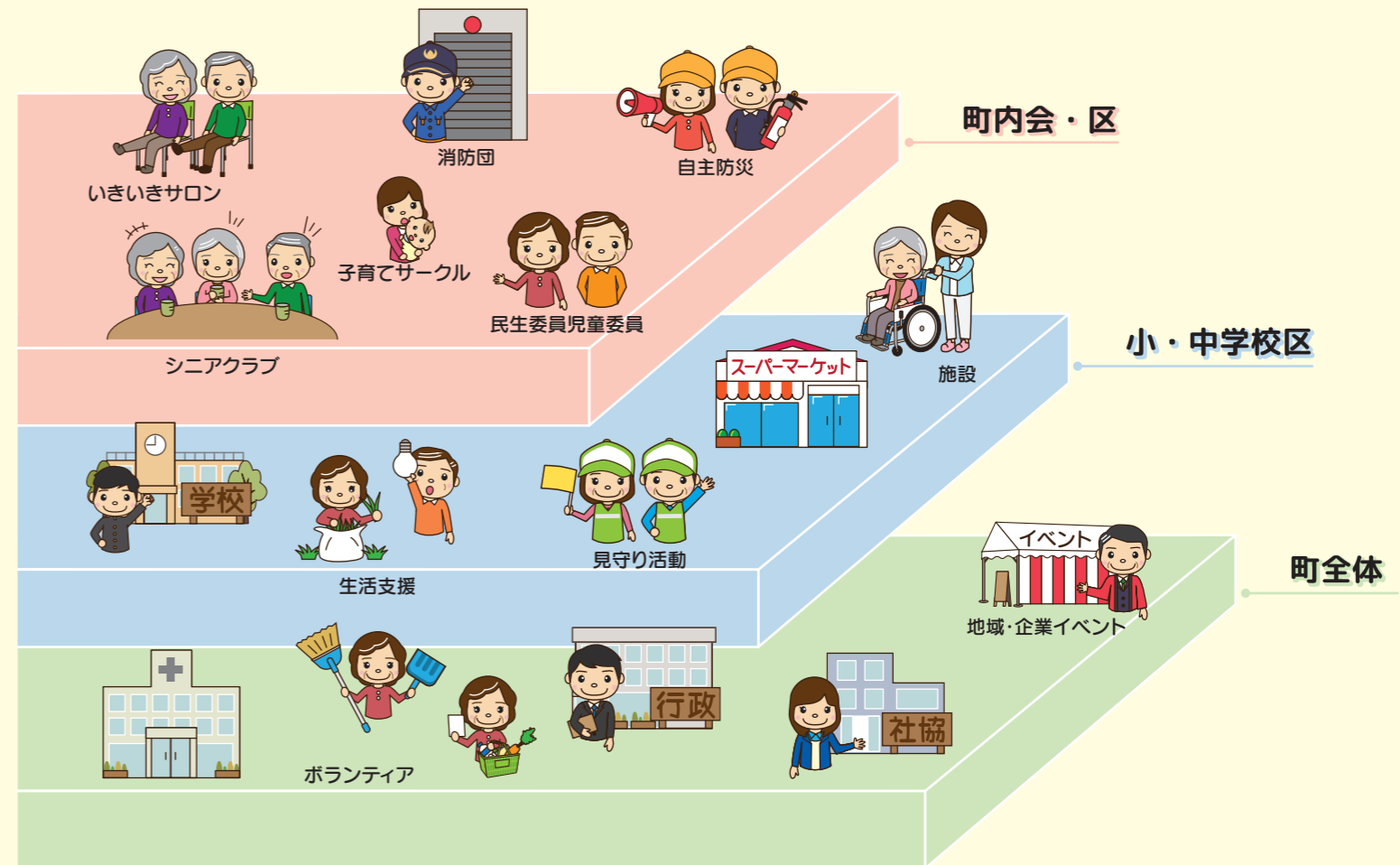
災害時のボランティアセンターでの相談の流れ



地域で活動する様々な人たち(団体)

普段、地域では、様々な人たち(団体)が活動しています。災害時は、そうした人たち(団体)が、それぞれの得意とする活動や特色のある活動を行い、被災者支援を行います。

そして、災害ボランティアセンターを含め、それぞれの人たち(団体)が協力し合って活動することで、より多くの被災者に支援が届くようになります。



災害時は、あなたの日常の仕事や活動が支援になる

皆さんは、普段どんな仕事や活動をされていますか？
 災害時には、仕事や活動で身に着けた技術や知識、情報、ネットワークなど多くのことが被災者支援につながります。
 災害時は、皆さんの「できる事」を「できる範囲」で「できる時」に、お貸しください。

